

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> A61L31/00, A61B17/00

08 MAR 2005

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>7</sup> A61L31/00, A61B17/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

CAPLUS (STN), MEDLINE (STN), BIOSIS (STN), JICST (JOIS)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	WO 01/30411 A1 (KAKEN PHARMACEUTICAL CO., LT D.) 2001. 05. 03, クレーム5、第7頁25-27行 (ファミリーなし)	1-7, 13-14
A	JP 2001-299769 A (京都大学長) 2001. 10. 30, 請求項1, 3, 9-10 (ファミリーなし)	1-14
A	WO 00/74577 A1 (SCIMED LIFE SYSTEMS, INC.) 2000. 12. 14, クレーム1、第5頁6-7行、第17頁1-8行 & JP 2003-501131 A	1-14

☒ C欄の続きにも文献が列举されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&amp;」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

12. 11. 03

国際調査報告の発送日

25.11.03

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

田名部 拓也

(印)

4 P

9738

電話番号 03-3581-1101 内線 3492

## C (続き) 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリ*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	JP 11-76249 A (株式会社カネカメディックス) 1999.03.23, 第2欄第10-24行, 第3欄第35-50行 (ファミリーなし)	1-14
A	Yuichi MURAYAMA et al., A new surface modification technique of platinum coils by ion implantation and protein coating: Use in intravascular treatment of brain aneurysms, Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B 127/128 (1997) pp. 1015-1018	1-14

クレーム1-5, 13-14の「BRM」は、広範囲の材料を包含するものであるが、PCT第5条の意味において開示されているのは、クレームされたとくわずかな部分にすぎず、PCT第6条の意味での明細書の開示による裏付けを欠くものと認められる。

また、クレーム1-5, 13-14の「BRM」は、出願時の技術常識を勘案しても、具体的にどのような材料が包含され、どのような材料が包含されないのか、全く不明であるから、クレーム1-5, 13-14はPCT第6条における明確性の要件を欠いている。

よって、調査は、クレーム6-12に特定されている材料を備えた塞栓用具について行った。また、クレーム6-12については、完全な調査を行った。

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP03/11470

Although "BRM" as described in claims 1 to 5 and 13 to 14 involves materials over a broad scope, only part of the claimed materials are disclosed in the meaning within PCT Article 5. Thus, it appears that the above claims are not supported by the disclosure in the description in the meaning within PCT Article 6.

Although the common technical knowledge at the point of the application is taken into consideration, it is completely unknown what specific materials are involved therein and what are not. Thus, claims 1 to 5 and 13 to 14 do not comply with the requirement of clearness in accordance with PCT Article 6 too.

Such being the case, the search was made on embolization devices having the materials as specified in claims 6 to 12. Claims 6 to 12 were completely examined.